

基調講演 心豊かに安心社会をめざして

—日本国憲法理念を社会の隅々まで生かした社会を—

はじめに

・ 自己紹介

①2026 年 8 月人権啓発フェスティバル石川 26 8 月 9 日(日)小松市市民センター 思いやる心を大切にして差別や偏見のない心豊かな社会を 講演 山田雅人 やなせたかしの物語

②人権啓発(部落差別・同和問題)パネル展 県庁 19 階展望ロビー 部落差別解消の推進に関する法律施行 10 年 8 月 11 日～18 日 映画『破戒』上映 島崎藤村原作 偶数日の午後 人権啓発に努力する石川県

1 基本的人権保障 日本国憲法の理念 1946 年 11 月 3 日公布 1947 年 5 月 3 日施行

・ 第 11 条 この憲法が国民に保障する基本的的人権は、侵すことのできない永久の権利として現在及び将来の国民に与えられる。

・ 第 12 条 この憲法が保障する自由及び権利は、国民の普段の努力によって、これを保持しなければならない。

・ 第 13 条 すべての国民は**個人**として尊重される

・ 第 14 条 ①法の下に平等で差別されない

・ 第 22 条 ①職業選択の自由

・ 第 24 条 ②個人の尊厳

・ 第 25 条 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利

2 石川県の県民意識調査(人権問題に関する県民意識調査令和 5 年度石川県)から

・ 風習や習慣等に関する意識 結婚にあたり家柄や血筋、出自や家庭状況 個人として尊重される、個人の尊厳の問題

3 1965 年 同和対策審議会答申

・同和問題(部落差別)の解消は国の責務であり国民的課題 ・同和問題とは結婚差別と就職差別 ・石川には歴史的に被差別部落存在していたが、現在はない(石川県)と、0 報告 ・1969 年同和対策特別措置法~2002 年まで 同和地区を指定し地域環境改善と同和教育に取り組む

4 部落差別解消の闘いはすべての国民の生活を豊かにしてきた

(1) 1922 年 3 月 3 日 全国水平手の結成と宣言 人間は尊敬するもの
(2) 第 26 条①教育を受ける権利②義務教育は、これを無償とする 教科書無償化の取組高知県土佐市から全国に広まる 1963 年
(3) 高等学校全国統一応募用紙 1973 年 ・1975 年部落地名総鑑の発覚 1979 年 7 月金沢の大手企業、80 年 1 月加賀の大手企業購入発覚 81 年 4 月県同和対策室設置

5 石川県の実態 石川県の県民意識調査(人権問題に関する県民意識調査令和 5 年度石川県)

部落問題の認知 知らない 38.4%2023 年、33.5%2013 年、33.8%2003 年、37.2%1993 年 内閣府の調査 10.7% 2022 年 8 月調査

・1994 年七尾パソコン通信差別事件
・1995 年民生委員会長差別発言
・「差別されている場所の特定はできないが、差別されている人が石川県内にも存在する」1996 年石川県の見解
その後啓発に努力「差別された人びとが名乗り出れるように」

6 公正採用選考人権啓発推進員の役割

就職に際しては、応募者本人の適性と能力で合否の判断を／配慮すべき 14 項目 本人の責任のないこと・本来自由であるべき事

資料 1994 年 5 月 26 日毎日新聞 2022 年 8 月 17 日讀賣新聞

7 参考 (1) 学校で習う部落問題 (2) 小説『破戒』 (3) 石川一雄さんのこと

2026 年 8 月 24 日 山口